

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を 目指した取組事例 について

三郷市教育委員会

指導力の向上・授業改善

～複線型授業の実現・ICTの効果的な活用～

これまで以上に「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現させるため、ICTを効果的に活用した「複線型授業」の実現を目指しています。

三郷市優秀教員表彰・受賞者による授業研究会

今年度は、小学校・道徳、中学校・保健体育の授業を公開。個別最適な学び、協働的な学びを通して「主体的・対話的で深い学び」を実現する、優秀教員の優れた指導方法から多くの学びを得ました。

事例1

○教科名：小学校「道徳」

○单元名：第6学年「ロレンソの友達」

○身に付けたい力：

- ・3人の判断を手がかりに、友としてどうあるべきかを考える学習を通して、信頼関係をもとに、相手の身になって考え行動することの大切さに気づき、友情を深めようとする態度を育てる。

内容項目〔B 友情、信頼〕

○ねらいに迫る発問構成【主発問を4つに構成】

分析的

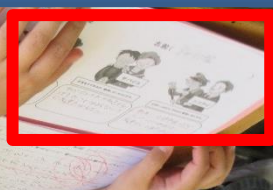
批判的

分析的

投影的



事前に教科書を読み、3人の登場人物の気持ちを分析



登場人物の判断の結果、友達関係はどうなるのか



ロレンソに対する3人の登場人物の気持ちを分析



自分だったらどうするか「自分事」として考える

事例2

○教科名：中学校「保健体育」

○单元名：第2学年「長距離走」

○身に付けたい力：

- (1) 技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解するとともに、自己のスピードを維持できるフォームでペースを守り一定の距離を走ることができるようにする。〈知識及び技能〉
- (2) 自己の課題を分析し、運動の取り組み方を工夫することができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉



- (3) 健康・安全に気を配り、陸上競技に積極的に取り組むことができるようにすること、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、分担した役割を果たすことができるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

①CTの効果的な活用

一人一台のタブレットPCを活用し、自らの長距離走の記録を瞬時にグラフ化する。
目標値と現在の記録を比較することで、課題をより明確にすることができた。

②効果的な声かけ

ICTにより目標との差が瞬時に明確になることで、「長距離走」でのペアでの声かけをより具体的に、活発に声かけを行うことができた。



教員研修組織 **GIGA3・プロジェクト「すすめる研究部」**による研究推進

ICT教育推進者が力を合わせて研究を進め、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の一体的な充実を図った「複線型授業」の実現を目指しています。また、授業研究に加え、デジタル教材共有バンク（オクリンクプラス）の作成を進めています。

事例3

○教科名：中学校「国語」（第3学年）

○单元名：「人工知能に関する二人の巨匠の対談を成功させよう」

○身に付けたい力：

- ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深める。〈知識及び技能〉(2)ア
- ・論説文の特性を踏まえて、論理の展開を捉える。〈思考力・判断力・表現力等〉(1)ア

○取組の工夫：授業の複線化



全員で課題を確認した後、教科書・書籍・インターネットを駆使し、各自がタブレット上のワークシート（オクリンクプラス）に筆者の主張をまとめました。分からないところや疑問に思ったところは、級友と話し合ったり、教師とともに解決の糸口を探ったりするなど、生徒一人一人が必要な学び方を考え、選択し、一生懸命学習に取り組む姿が見られました。



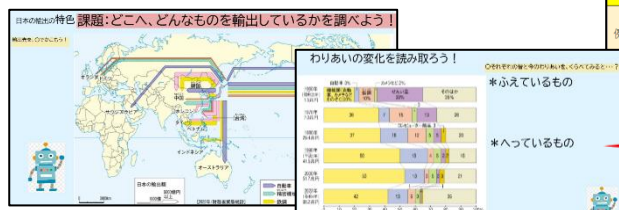
事例4

○取組場面：ICT教育推進者が、「個別最適な学び・協働的な学び」の一体的な充実を目指して、授業実践で活用したデジタル教材（オクリンクプラス）を共有する。

○対象：市内全教員

○取組の工夫：デジタル教材共有バンク（共有コードの一覧化）

No.		教科	学年	单元名・題材名	共有コード	QRコード	作成者
例		国語	2年	スイミー	pb01J5YV39NTYGEJP6RTSEV4AF6E		三郷小・三郷太郎



※令和7年度から本格運用開始